

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 25 年 5 月 21 日 (火)
地区/会場 二見小学校区/
二見老人福祉センター
参加者数 19 人
後日回答となった質問 5 件



《質問・意見》

① 空き家対策について

安城市では不審火の事件があった。茶屋でも空き家 2 軒で火事があった。空き家は、安全で安心なまちづくりという面から問題がある。いなべ市では空き家バンク制度をつくっていると聞いた。伊勢市でも何らかの対策が必要ではないか。

② 二見小学校の移転について

二見小学校の高台移転を早急にお願ひする。適正配置の件では大人がいろいろ議論をしているが、小学校は子どもを中心に考えるべき。子どもの命を大切にするという意味からも、早急にお願ひしたい。

《回答》

① 空き家対策は、本当に大事なこと。できる限り早期に取り組んでいきたい。ただし、建物の権利関係については、相続の問題など難しい問題がある。どういうふうに関係できるかテーブルに載せていきたい。

② 早くやっていきたいと思っている。地元の皆さんの協力をお願ひしたい。

《質問・意見》

① 避難道について

- ・ 避難道の整備について要望しているが、何一つ解決していない。
- ・ 避難道の防犯灯や水銀灯の電気代は、市が負担するべきではないか。水銀灯だから電気代が高い。
- ・ 整備の要望の内容としては、太陽光発電を付けた電灯にすることはできないか。また、避難道に竹の根が出てきて通行できないという状況があるから、オーバーレイを厚くできないかと要望した。避難道だから早急にやってもらいたい。

② 懇談会について

せっかく懇談会を開催しても、出席者がこれだけの人数ではもったいない。開催場所を 1 箇所だけでなく、市長の日程の都合もあるが、細かく地区割りして地元の公民館など、複数の会場で開催すれば、もっと集まるのではないか。また、もっと PR をしてはどうか。防災

行政無線を使って広報すればよい。

《回答》

- ①・ 防犯灯については、半額を補助している。今、伊勢市全体で11,000灯ある。地域で活用していただいていることから、維持管理経費の半分は地域でみていただきたい。LED化を進めていく。
- ・ 水銀灯については、水銀灯以外でどの程度の明るさが確保できるか調査をしなければならない。

(産業観光部長)

- ・ 避難道の整備に当たり、地元の説明して応分の負担をしていただくとの協力を求めて、当時の区長の合意を得た経緯がある。
要望されている事項については、できるか、できないかを検討したい。
- ② (意見のため回答なし)

(後日回答)

- ① 防犯灯につきましては、自治区が所有している道路照明設備等のうち、中部電力株式会社との契約種別が「公衆街路灯A」の区分の電気料金について、防犯灯助成金制度の対象としています。今回ご質問いただきました市道及び私道の水銀灯2灯・蛍光灯3灯につきましては、すべて契約種別が「公衆街路灯A」であり、平成22年度から平成24年度までの3年間、自治区からの交付申請に基づき、防犯灯助成金交付要綱に沿って電気料金(ただし、1灯当たり20ワットの蛍光灯に要する金額を限度とする)の1/2を助成させていただいており、助成金額の合計は3年間で18,930円となっております。

ご質問内容の電気代につきましては、これまで同様に市の助成金交付申請をしていただきますようお願いいたします。

ご質問の道路は市道と私道で管理区分されており、私道部分につきましては平成21年度に市により緊急避難路として整備いたしました。整備後は三津区と土地の所有者である(株)伊勢安土文化村により、維持管理の協定を締結し、現在に至っております。

本来であれば管理協定に基づき修繕をお願いするところですが、今回は緊急避難路であり、早急に対応する必要があることから、市にてオーバーレイを実施いたします。

《質問・意見》

- ① 防災について

荘、西、今一色の地域には、高台がない。避難タワーも計画されているとのことだが、避難できるスペースは限られている。海のほうから山のほうへ通っている道路は、現状では対面通行で、ぎりぎりの幅である。道路を広げるとか、増設が必要ではないか。

- ② 五峰山への避難道の整備について

山に市道がある。2年ほど前から区民が出て整備しているが、限界がある。市への要望では、何らかの手立てをしてもらえるとの回答があったが、できるだけ早く着手してほしい。

市道だけれども、通れない道になっている。

《回答》

(都市整備部)

①・② 市道の場所を確認の上、担当課に伝えさせていただきたい。

(危機管理課)

② 平成25年度から、自主防災の方で整備していただいたら、上限50万円で3分の2を補助する制度がある。

(後日回答)

① 海から山への道路新設につきましては、昨年度に国道42号から光の街へ接続するルート of 整備をご要望いただきました。この道路は、延長が約500m、その区間には、五峰山、JR、山田原の集落があるなど、整備には莫大な事業費と事業期間が想定されることから、事業化は困難であると回答させていただきました。

要望箇所の事業化につきましては、市内各所の道路整備状況や財政状況などを踏まえて検討してまいります。

②道路の不陸整正と横断水路の整備を早急にいたします。

《質問・意見》

① 防災について

東日本大震災では多くの教訓を得た。水陸両用の救急車やトラックを導入し、自衛隊と共同使用することを検討してはどうか。

《回答》

① 我々にオペレーターがいるかどうかという問題もある。災害時において広域的に使う重機の購入は、国の三重河川国道事務所がしているので、宿題として伝えたい。

《質問・意見》

①・平成21年に基盤整備課のほうから、光の街から松下の橋まで、江1号線につながる道路をつけたいという話があったが、どうなっているか。地権者14名に説明もあったが、その後、未だに何の連絡もない。できないなら、できないと返事をするべき。職務怠慢だ。
・この件は、市の方から作りたいと言ってきた。地元の要望が足りないというのは納得できない。

《回答》

(産業観光部長)

①・市としては、優先順位が低いと判断して、地元の説明させてもらっている。道路の計画は何番目かの順位で、今も生きている。地元のほうでも優先順位を高めてほしいとの要望があれば、進めるということは都市整備部にある。

・地元として要望が出されていない。

・小学校の統合の問題では、松下や江の子どもたちの通学路としての活用も考えていく必要があるので、都市整備部に伝えたい。

- ・ 5年計画、10年計画というような場合、その時々での優先順位でそのまま置きっ放しということが、行政の悪い体質としてあるかもしれない。こういったことが起こらないよう、定期的に意見交換を行う場が必要と考える。この件は持ち帰って、状況、経緯を確認した上で、改めて相談させていただきたい。

《後日回答》

道路整備につきまして、説明会以降の経過報告をしていなかったことをお詫び申し上げます。

光の街から江1号線の道路については、二見ジャンクションへのアクセス向上や災害時の避難路として計画し、平成21年3月16日に江地区、翌17日に三津地区にて説明会を実施しました。説明会では、計画内容の見直しや、他の道路を優先することなどの意見をいただいたものの、特に強い反対意見はございませんでした。

その後、説明会を欠席された方へ事業の説明や意向確認を行ったところ、強い反対の意向を示されました。市としての本道路の重要性は変わっておりませんが、道路の新設につきましては、地権者様のご協力が不可決であり、現時点での計画の実行は困難な状況であります。今後は地権者様の意向を踏まえながらも、道路計画が推進できるよう努めてまいります。

《質問・意見》

① 災害時要援護者登録制度について

- ・ 民生委員として対象者を訪問しているが、登録申請書は、もう少し高齢者が書きやすいようにならないか。以前の制度の時の登録内容が活用できないかと話をしたが、再度の登録は二重の手間である。市のほうで書ける部分があるのではないか。対象者がやり易いようにやるのが行政である。どうしても書けないのは、緊急時の家族の連絡先と支援者だと思う。
- ・ 私は67歳だが、同級生のところに訪問するのは辛いものがある。例えば、伊勢市は70歳以上にするとか。今は70歳くらいで働いている人もいる。伊勢市の特色として対象者の範囲を考えてはどうか。
- ・ 身体障害者手帳を持っていても、対象にならない場合がある。本当は対象にするべきではないのか。
- ・ 制度の設計、運用については、もう少し地域の民生委員の意見を聞いてほしい。

《回答》

- ① ・ 対象者の年齢については、70歳という線で全員がよいということにもならず、難しい。若い世代でも、脳梗塞などで障がいが出ている人もいる。年齢をどういうふうに区切るかということは、なかなか難しい。
- ・ 申請書の事前記入の点については、おっしゃるとおりかと思う。
 - ・ いろいろな課題が出てきている。次の更新の時には見直しの機会としたい。
 - ・ 改善の案をまとめていただける機会を持ちたい。

《質問・意見》

- ① 神宮の参拝は外宮からということで盛んにPRしているが、浜参宮を済ませてから外宮、

内宮へということをしてPRしてほしい。早急に手を打っていただいて、二見のまちの活性化、観光客の増加につなげてほしい。また、今後20年先を見据えて発信をしてほしい。

《回答》

(産業観光部)

- ①・ 最近、マスコミでは外宮をずいぶん取り上げてもらっており、チャンスと思っている。実は、マスコミ等へは浜参宮を済ませてから外宮、内宮へと言っているが、なかなかそこへ行き着けていない。二見を取り上げていただくよう頑張りたい。
- ・ 二見に来てもらえるような、何か人を呼べるものが必要だ。「貝めし」とか、もう一度力を入れて。
- ・ 今残っている歴史、財産をもう一度掘り起こしたい。古文書とか、口伝でしか残っていないものもあると思う。地元で活動をしてもらえれば、行政もバックアップをしたい。今、歴史、財産を磨きなおしておけば、それこそ20年後の観光に活用できると思う。

《質問・意見》

- ① 住民の活動、人材を育てていく必要がある。行政だけが走ってもいけない。

《回答》

(産業観光部)

- ① 外宮、内宮をマスコミに取り上げてもらっていることも、行政が発信していることだけではなく、本当は店の動き、それがセットになって初めてマスコミに取り上げてもらえている。民間の動きがないといけない。行政と民間が一緒になってやらせていただきたい。

《質問・意見》

- ① このような懇談の場を持つのであれば、もっと広報をするべき。今日は、防災行政無線の放送はなかった。広報いせの記事は、一度読んで忘れてしまっている人もいるのでは。しっかりと広報して、人がもっと集まって市長と懇談できる場をやってもらったほうがよい。防災行政無線で放送するのが一番よい。
- ② 不登校対策に力を入れるとのことだが、その内容は？

《回答》

- ① 意見のため回答なし
- ② 沼木で「NEST」という教室を開いている。不登校となる原因は、さまざま。複合している場合もある。専門家の方を増員して、子どもたちに寄り添う体制をつくっていきたい。

《質問・意見》

- ① この頃は、こういったものの開催のお知らせなど、いろいろと情報が多い。私は、区からのお知らせなどを自分でまとめて綴じている。いろいろな情報は、まとめてパンフレットのようにして出したらどうか。何か工夫を検討してはどうか。

《回答》

- ① 懇談会自体について意見をいただいたのは、この地区が初めて。情報発信の在り方については見直していきたい。本当はおっしゃっていただいたように字単位で行なうのが理想だと思っているのだが、自治会が177あるので、なかなかそこまではできていないというのが現状。会場を変えていくとか、改善をさせていただきたい。